

木村は、日本ウェルネス北九州が関西遠征でのOP戦で初めて見ましたが、北村監督から「木村は内野、外野とユーティリティプレイヤーで絶対に戦力になりますから」と強く勧めてきたのを覚えています。

また、原井コーチからも「1人だけリストの強いバッティングをする面白い選手がいます」と言ったのが木村でした。

1カ月後にセレクションに参加した時も、リストの強いバッティングで良い当たりを連発でアピールをするも、守備には雑さが目立っていましたが、原井コーチからは「肩も強いし、足もあるので、基本から教えられる良い選手になります」と太鼓判を押されたのを思い出します。

来て直ぐのOP戦でいきなり、俊足を飛ばしての3塁打を含む2打数2安打と1年目からの活躍を期待しましたが、不安の守備で捕球ミスが多く外野手へのコンバートとなりました。

2年目から外野手として出だしは好調でレギュラー確保かと思いましたが、なかなか定着できませんでした。

それでも、リストの強いバッティングは健在で毎日の「米俵」筋トレ成果？

今年の西近畿代表決定戦では、点を取っても取っても食い下がってくるNSBに最後の一打で決着をつけてくれました。

噂によると、小さい玉を打つのが大好きで時間があれば、台に座って楽しんでいると聞きました。

これから、新たな道を歩みますが、小さな玉もそこそこにして、第2の人生を頑張ってください。



「米俵パワー」
木村雄大選手
(平成27年入部)